

1 全体像	2・3 ヨーロッパ	4・5 世界進出	6・7 鉄砲・布教	8～11 信長と秀吉	12・13 秀吉の政策	14～16 文化・まとめ
-------	-----------	----------	-----------	------------	-------------	--------------

1
この単元の全体像 ― なぜ、100年続いた戦乱の世が終わった？

このページのゴール
ヨーロッパ人の世界進出から豊臣秀吉の全国統一までの流れと、この単元で学ぶ6つのことを、ざっと言える

中1では、応仁（おうにん）の乱（1467年）の後、各地の戦国大名が争う戦国時代になったことを学びました。同じころヨーロッパでは、新しい文化と宗教の動きが起こり、人々が船で世界に乗り出しました。ヨーロッパ人が日本に来て鉄砲とキリスト教を伝えと、戦い方も社会も変わり、織田信長（おだのぶなが）と豊臣秀吉（とよとみひでよし）が全国を統一して、約100年続いた戦乱の世が終わりました。

ヨーロッパ	1492年			1498年		1517年		1522年	
	コロンブスが西インド諸島に着く (4)			バスコ・ダ・ガマがインドに着く (4)		ルターが宗教改革を始める (3)		マゼランの船隊が世界一周 (4)	
日本	室町時代（戦国時代）			安土桃山（あづちももやま）時代					江戸時代
	1543年	1549年	1560年	1573年	1575年	1582年	1590年	1592年	→
	鉄砲の伝来 (6)	キリスト教の伝来 (7)	桶狭間（おけはざま）の戦い (8)	室町幕府がほろびる (8)	長篠（ながしの）の戦い (8)	本能寺の変 (8)	秀吉が全国を統一 (10)	文禄（ぶんろく）の役 (13)	次の⑤

ヨーロッパ

ルネサンス

宗教改革

大航海時代

→

日本

戦国大名

鉄砲・キリスト教

↓

信長

↓

秀吉

↓

全国統一 (1590年)

←

桃山文化

① ヨーロッパの変化

くわしくは2・3ページ

新しい文化と、キリスト教の改革を学びます。

② ヨーロッパの世界進出

くわしくは4・5ページ

ヨーロッパの人々が、船で世界に乗り出したわけを学びます。

③ 鉄砲とキリスト教の伝来

くわしくは6・7ページ

日本に伝わった物と、日本の変化を学びます。

④ 信長と秀吉の統一事業

くわしくは8～11ページ

2人が全国統一を進めた方法を学びます。

⑤ 秀吉の政策と朝鮮侵略

くわしくは12・13ページ

社会のしくみを変えた政策と、外国への出兵を学びます。

⑥ 桃山文化

くわしくは14・15ページ

この時代の豪華な文化を学びます。

この単元の問い
なぜ、100年続いた戦乱の世が終わった？（答えは16ページ）

この単元の解説記事（図と例題つき）：[かてきょノート \(katekyo-note.com\)](https://katekyo-note.com/)
<https://katekyo-note.com/%e3%80%90e4%b8%ad2%e7%a4%be%e4%bc%9a%e3%83%bb%e6%ad%b4%e5%8f%b2%e3%80%91e3%83%a8%e3%83%bc%e3%83%ad%e3%83%83%e3%83%91%e4%ba%ba%e>

2 ヨーロッパでは、なぜ新しい文化が生まれた？

このページのゴール 中世のヨーロッパのようす、ルネサンスとは何か、それがイタリアで始まったわけを言える

① 中世のヨーロッパとルネサンス



フィレンツェの大聖堂
(イタリア。丸屋根は15世紀にできた)
写真：Bryan McDonald (CC BY-SA 2.0)。
Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

西ヨーロッパでは、キリスト教のカトリック教会と、その頂点にいるローマ教皇が大きな力をもっていました。
中1で学んだ十字軍（聖地エルサレムを取りもどそうとした遠征）の後は、イスラム世界との貿易がさかんになり、フィレンツェ・ベネチアなどのイタリアの都市が栄えました。イスラム世界で受けつがれ、発達していた古代ギリシャ・ローマの学問も、そこに伝わりました。

ルネサンス（文芸復興）＝14世紀に、貿易で栄えたイタリアの都市で始まり、16世紀にかけてヨーロッパに広がった、古代のギリシャやローマの文化を学び直し、人間のいきいきとした姿や個性を表そうとした動き

芸術：レオナルド・ダ・ビンチが絵画「モナ・リザ」を、ミケランジェロが「ダビデ」の像をつくりました。
科学：コペルニクスが地動説（地球が太陽の周りを回る）をとえ、ガリレイが望遠鏡で天体を観測して、地動説を支持しました。
技術：中国からイスラム世界を通じて伝わった羅針盤（らしんばん。方位を知る道具）は遠い海の航海に（4ページ）、火薬は鉄砲に（6ページ）つながりました。15世紀中ごろ、ドイツのグーテンベルクが活版印刷（かっぱんいんさつ）を実用化し、本がたくさん作られるようになりました（3ページ）。

	中世	ルネサンス
中心にしたもの	神と教会の教え	人間
絵や像・学問	神や聖人を形どおりに。教会の教えを学ぶ	人間の体や表情をいきいきと。古代の学問と観察

注意 ×ルネサンスは、古代の文化をすてて、新しい神の教えを広めた動きだった → ○古代ギリシャ・ローマの文化を学び直し、人間のいきいきとした姿を表そうとした

合言葉 「古代に学んで、人間らしく」

→ まとめ：羅針盤・火薬・活版印刷が、遠い海への航海や、鉄砲、宗教改革につながった

3 キリスト教の世界は、なぜ二つに分かれた？

このページのゴール 宗教改革のきっかけ、ルターとカルバンの考え、カトリック教会の立て直しとイエズス会の海外への布教を言える

① 宗教改革の流れ

- ① ローマ教皇が、大聖堂を建てる費用を集めるため、**免罪符**（めんざいふ。「買えば罪が許される」とされたふだ）を売り出す
- ② 1517年、ドイツの**ルター**がこれを批判し、「人は信仰によって救われる。聖書だけが信仰のよりどころだ」と主張する
- ③ ルターが聖書をドイツ語に訳し、それが2ページの活版印刷で広まる
- ④ スイスの**カルバン**も改革を進め、職業にはげむことも神の教えにかなうと説く
- ⑤ カトリック教会からはなれて改革を支持した人々が、**プロテスタント**（もとの意味は「抗議する者」）とよばれ、キリスト教は2つに分かれる

宗教改革=16世紀の初め、ルターがローマ教皇の免罪符の販売を批判して始まり、カルバンも進めた、聖書を信仰のよりどころとする、キリスト教の改革

② カトリックとプロテスタント

	カトリック	プロテスタント
よりどころ	ローマ教皇と教会の教え	聖書
広まった所	南ヨーロッパなど	ドイツ・スイスなど北の方（カルバンの教えは商工業者に広まった）
その後	イエズス会をつくり、海外に布教	カトリック教会からはなれた人々がふえた

イエズス会=プロテスタントが広がり、カトリック教会からはなれる人がふえたため、教会を立て直そうとつくられた団体。ヨーロッパの外で信者をふやそうと、アジアやアメリカ大陸に**宣教師**（せんきょうし。キリスト教を広める人）を送った。**フランシスコ・ザビエル**もその一人

考え方 空らんのある文は、前後の原因と結果をたどって、入る語を決めます。（例：「雨がふったので、〔 〕。そのため試合は中止になった」→ 雨の結果が入る）

注意 × 宗教改革は、ローマ教皇がルターの教えを批判して始まった → ○ ルターが、ローマ教皇の免罪符の販売を批判して始まった

合言葉 「ルターは聖書、イエズス会は海外へ」

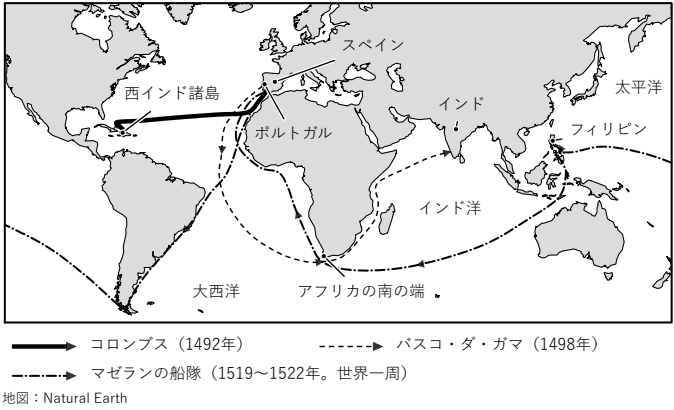
→ まとめ：イエズス会の宣教師が、アジアと日本へ向かった（7ページ）

4 ヨーロッパの人々は、なぜ海に乗り出した？

このページのゴール アジアへの新しい航路を求めたわけと、コロンブス・バスコ・ダ・ガマ・マゼランがどこを通過してどこへ行ったかを言える

ねらい	<u>香辛料</u> （こうしんりょう。こしょうなど）や絹織物などは、 <u>イスラム商人</u> やイタリアの商人を通してヨーロッパに運ばれ、とても高かった。そこで、アジアと直接取引しようと、海の新しい道（ <u>新航路</u> ）を求めた
ほかの理由	キリスト教を世界に広めたい（3ページ）。羅針盤や船・航海術の進歩（2ページ）で遠い海を行けるようになり、スペインとポルトガルの王が航海を援助した

大航海時代＝15世紀の終わりから、ヨーロッパの国々が新しい航路（こうろ）を開き、世界の海に乗り出していった時代



人	援助した国	年	進んだ道	着いた所
<u>コロンブス</u>	スペイン	1492年	大西洋を西へ	<u>西インド諸島</u>
<u>バスコ・ダ・ガマ</u>	ポルトガル	1498年	アフリカの南の端を回る	インド
<u>マゼラン</u> の船隊	スペイン	1519～1522年	南アメリカの南の端を回って太平洋へ。マゼランは途中のフィリピンで亡くなり、船隊が1522年に帰って初めて世界一周	スペインに帰る

考え方 航路は、「どの国が出発し、どの向きに進んだか」で人と結びつけて読みます。

注意 ×コロンブスは、アフリカの南の端を回ってインドに着いた → ○大西洋を西へ進み、西インド諸島に着いた（インドに着いたのはバスコ・ダ・ガマ）

合言葉 「西へコロンブス、南回りでガマ、一周マゼラン」

→ まとめ：羅針盤などで遠い海を行けるようになり、ヨーロッパの人々がアジアの海へ向かった

5 ヨーロッパの進出は、アメリカ大陸やアフリカをどう変えた？

このページのゴール アメリカ大陸の先住民の国がほろびたわけ、アフリカの人々が連れてこられたわけ、スペインとポルトガルがどこに進出したかを言える

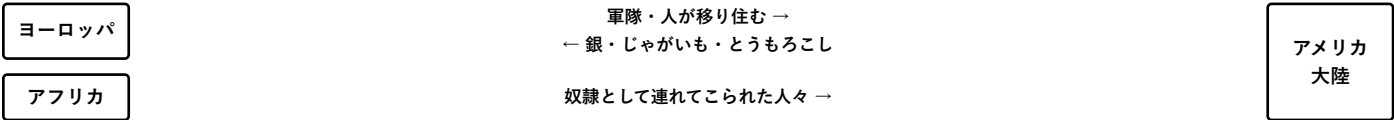
4ページの航海で、ヨーロッパの人々は、アメリカ大陸とアフリカ、アジアに進出しました。

① アメリカ大陸

スペインは軍隊を送り、16世紀の前半に、メキシコのアステカ王国と、南アメリカのアンデス山脈のインカ帝国をほろぼしました。スペイン人は、先住民（その土地に昔から住んでいた人々）を、銀の鉱山や農園できびしく働かせました。ヨーロッパ人が持ちこんだ病気（天然痘〈てんねんとう〉など）も広がり、先住民の人口は大きく減りました。

② アフリカ

働く人が足りなくなると、アフリカの人々を奴隷としてアメリカ大陸へ連れてきて働かせました。



アメリカ大陸の銀は大量にヨーロッパへ運ばれ、じゃがいも・とうもろこし・トマトなどもヨーロッパに伝わりました。

③ アジア

ポルトガルは、インドのゴア・東南アジアのマラッカ・中国のマカオに拠点を置き、アジアの香辛料や生糸の貿易を行いました。スペインは、フィリピンのマニラに拠点を置きました。こうしてポルトガル人やスペイン人が東アジアの海にも来て、日本にも来るようになりました（6・7ページ）。

	スペイン	ポルトガル
援助した航海者	コロンブス・マゼラン	バスコ・ダ・ガマ
アメリカ大陸	中部・南部の広い範囲（ブラジルをのぞく）	ブラジル
アフリカ・アジアの拠点	マニラ	アフリカの海岸ぞい・ゴア・マラッカ・マカオ

考え方 国ごとの進出先は、「国 → 援助した航海者 → 進んだ道 → 進出した所」とつなげて整理すると、取りちがえません。

注意 × アメリカ大陸の先住民は、ヨーロッパの人々と対等に貿易をして豊かになった → ○ アステカ王国やインカ帝国がほろぼされ、きびしい労働と病気で人口が大きく減った

合言葉 「インカもアステカもスペインに」

→ まとめ：ポルトガル人やスペイン人がアジアの海に来て、日本とも出会った

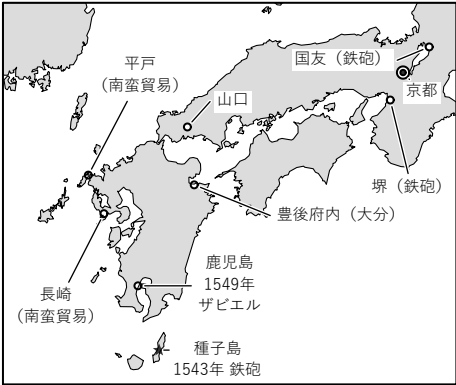
6 鉄砲の伝来は、戦い方をどう変えた？

このページのゴール 1543年にどこへどのように鉄砲が伝わり、どこで作られ、戦い方と城がどう変わったかを言える

① 鉄砲が広まるまで

- ① 1543年、ポルトガル人（5ページ）を乗せた中国人の船が、種子島（たねがしま。今の鹿児島県）に流れ着く
- ② 島の領主が鉄砲を買い、刀をつくる職人に作り方を学ばせる
- ③ まもなく、堺（大阪府）や国友（くにとも。滋賀県）などで大量に作られる
- ④ 全国の戦国大名（中1）に広まる

鉄砲の伝来＝1543年、ポルトガル人を乗せた中国人の船が種子島に流れ着き、鉄砲が日本に伝えられたこと



地図：Natural Earth

② 戦い方と城の変化



火縄銃（鉄砲）
（江戸時代のはじめに日本で作られた物）
写真：Rama（CC BY-SA 2.0 fr）。Wikimedia Commons より、
白黒にした

	前	後
戦い方	馬に乗った武士の一騎打ちや弓矢が中心	<u>足軽</u> （身分の低い兵）の鉄砲隊を組み合わせた、集団の戦い
城	山の上の城	石垣と堀で守りを固めた、平地の城（城下町とひとつになった城）がふえた

考え方 並べかえは、年を思い出して小さい順に。（例：1498年 バスコ・ダ・ガマ → 1575年 長篠 → 1590年 全国統一）

注意 × 鉄砲は、1543年にスペイン人が長崎に伝えた → ○ ポルトガル人を乗せた中国人の船が種子島に流れ着き、伝えた

合言葉 「1543、種子島から鉄砲が広がる」

→ まとめ：鉄砲を多くそろえた大名が強くなり、全国の統一が早まった

7 キリスト教と南蛮貿易は、日本に何をもたらした？

このページのゴール ザビエルがキリスト教を伝えたこと、キリシタン大名が布教を認めたわけ、南蛮貿易の輸入品と輸出品を言える

① キリスト教の伝来

キリスト教の伝来 = 1549年、イエズス会（3ページ）の宣教師 フランシスコ・ザビエル が鹿児島に来て、日本に初めてキリスト教を伝えたこと

ザビエルは、山口・京都・豊後（ぶんご。今の大分県）などで布教しました。その後も宣教師が来て、教会（南蛮寺〈なんばんじ〉）・学校・病院などをつくり、西日本を中心に信者がふえました。日本のキリスト教の信者を キリシタン といいます。

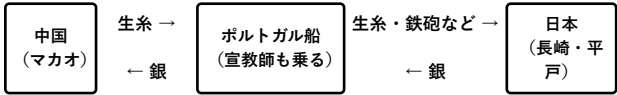
キリシタン大名 = キリスト教の信者になった大名。九州の大友宗麟（おおともそうりん）・有馬晴信（ありまはるのぶ）・大村純忠（おおむらすみただ）など。宣教師を保護すると貿易の利益が得られるので、布教を認めた大名が多かった。1582年には、この3人が4人の少年をローマ教皇のもとへ送った（天正遣欧使節〈てんしょうけんおうしせつ〉）



南蛮屏風（一部）
（南蛮船と南蛮人。狩野内膳の作）
絵：狩野内膳（著作権切れ）。Wikimedia Commons より、白黒にして切り取った

② 南蛮貿易

南蛮貿易 = ポルトガル人やスペイン人（南の方から来たので 南蛮人 とよばれた）との貿易。おもに長崎・平戸（ひらど。長崎県）で行われた。輸入 = 生糸・絹織物・鉄砲・火薬など。輸出 = おもに銀



注意 × 南蛮人とは、中国から来た人々のことだ → ○ 南の方から来たポルトガル人やスペイン人のこと

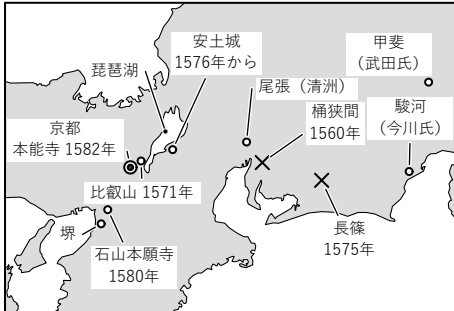
合言葉 「生糸と鉄砲を買い、銀で払う」

→ まとめ：南蛮貿易で、大名は鉄砲や火薬、商人は大きな富を手に入れた

8 織田信長は、どのように全国統一を進めた？

このページのゴール 桶狭間の戦いから本能寺の変までの流れと、長篠の戦いで鉄砲をどう使ったかを言える

① 信長の歩み



地図：Natural Earth

- ① 1560年、尾張（おわり）の織田信長が、桶狭間の戦いで、駿河（するが）の今川義元（いまがわよしもと）を破る
- ② 1568年、足利義昭（あしかがよしあき）を立てて京都に上る
- ③ 1571年、敵に味方した比叡山延暦寺（ひえいざんえんりゃくじ）を焼き討ちにする
- ④ 1573年、対立した義昭を京都から追放し、室町幕府をほろぼす
- ⑤ 1575年、長篠の戦いで武田勝頼（たけだかつより）を破る
- ⑥ 1576年、琵琶湖（びわこ）の東のほとりに安土城（あづちじょう）を築き始める
- ⑦ 1580年、一向一揆（中1）の中心の石山本願寺（いしやまほんがんじ）を降伏させる
- ⑧ 1582年、京都の本能寺で、家臣の明智光秀（あけちみつひで）にそむかれて自害する

長篠の戦い＝1575年、織田信長が徳川家康と連合して、鉄砲を大量に使い、武田勝頼の騎馬隊を破った戦い（6ページの「足軽の鉄砲隊を組み合わせた集団の戦い」の例）

本能寺の変＝1582年、京都の本能寺で、信長が家臣の明智光秀にそむかれて自害したできごと。全国統一は果たせなかった

注意 × 室町幕府をほろぼしたのは、豊臣秀吉だ → ○ 1573年、織田信長が將軍の足利義昭を京都から追放してほろぼした

合言葉 「桶狭間で名を上げ、長篠で鉄砲」

→ まとめ：信長は鉄砲を生かした戦いで強い大名を破り、將軍や寺の勢力もおさえた

9 信長は、なぜ商業をさかんにした？

このページのゴール 安土城を築いた場所のわけ、楽市・楽座と関所の廃止で何が変わったか、堺を支配したわけ、仏教勢力をおさえキリスト教を保護したわけを言える

安土は、琵琶湖の東のほとりで、京都に近く、水運と東西の道が通る所です。

① 楽市・楽座と関所の廃止

楽市・楽座＝安土の城下町などで、市の税を免除し、座（中1. 商工業者の同業者の組合で、特権をもつ）の特権をなくして、だれでも自由に商売ができるようにした政策

- ① 【楽市の前】布の商人Hさん（架空）は、座に入っていないので、その品物を売れない
- ② 【楽市の前】運ぶ途中の関所ごとに、通行料を取られる
- ③ 【楽市の後】安土の市では、税を払わず、座に入らなくても自由に売れる
- ④ 【楽市の後】関所がなくなり、品物を運びやすくなる
- ⑤ Hさんのような商人や職人が城下町に集まり、商工業がさかんになる

関所の廃止＝各地の関所で通行料を取られていたのをやめさせ、人や物の行き来を自由にした政策です。

② 堺の支配

自治都市の堺は、豪商（ごうしょう。大商人）が自分たちで治めていて、鉄砲の産地でした。信長は堺を従わせて直接支配し、富と鉄砲を手に入れました。

③ 信長の政策とねらい

政策	何をした	ねらい
楽市・楽座	市の税を免除し、座の特権をなくす	商人や職人を集め、商工業をさかんにする
関所の廃止	通行料を取る関所をやめさせる	人や物の行き来を自由にして、商業をさかんにする
堺の支配	自治都市の堺を従わせて、直接支配する	富と鉄砲を手に入れる
仏教勢力をおさえる	延暦寺・一向一揆を、武力でおさえる	武力をもって従わない勢力をなくす
キリスト教の保護	宣教師の布教を認める	南蛮貿易の利益を得る。仏教勢力に対抗する

注意 × 楽市・楽座は、市の税を重くして、座の商人に商売を任せた政策だ → ○ 市の税を免除し、座の特権をなくして、だれでも自由に商売できるようにした

合言葉 「税なし・座なし・関所なし」

→ まとめ：信長は商工業をさかんにして、戦いに必要な富を集めた

10 豊臣秀吉は、どのように全国を統一した？

このページのゴール 秀吉が信長の後をついで全国を統一した流れと、関白になって朝廷の権威を使ったことを言える

8ページの本能寺の変の後、信長の後をついだのが豊臣秀吉です。秀吉は尾張の身分の低い家に生まれ、信長の家臣になって活躍しました。

① 秀吉の歩み

- 1582年、本能寺の変の後、山崎の戦いで明智光秀を破り、信長の後継者の地位を固める
- 1583年から、石山本願寺の跡に**大阪城**を築き、政治と経済の拠点にする
- 1585年、朝廷から**関白**に任じられる
- 1587年、四国に続いて九州の大名を従える
- 1590年、小田原（神奈川県）の**北条氏**（ほうじょうし）をほろぼし、東北の大名も従えて、**全国を統一**する

関白（かんぱく）＝天皇を助けて政治を行う職（中1の摂関政治）。秀吉は1585年に関白、翌年には**太政大臣**（だいじょうだいじん）になり、豊臣の姓をあたえられた

② 朝廷の権威を使う

秀吉は、関白や太政大臣という朝廷の職についた権威を使い、全国の大名に戦いをやめるよう命じました。従った大名には領地を認め、家来にしました。秀吉は、幕府を開かず、征夷大將軍にもなりませんでした。

考え方 人物の問題は、「その人がついた職」と「その人が開いた幕府の有無」を分けて整理します。（例：「関白」は朝廷の職の名前、「幕府」は武士の政治のしくみで、別のものです）

安土桃山時代＝織田信長と豊臣秀吉が全国統一を進めた時代。信長の安土城と、秀吉が晩年に城を築いた伏見（のちに桃山とよばれた）から名づけられた

注意 × 秀吉は征夷大將軍になって、大阪に幕府を開いた → ○ 秀吉は幕府を開かず、関白・太政大臣になって、朝廷の権威を使って大名を従わせた

合言葉 「光秀を破り、関白になって全国統一」

→ まとめ：秀吉は朝廷の権威も使って、全国の大名を従わせた

11 信長と秀吉は、戦乱の世をどう終わらせた？

このページのゴール 信長と秀吉のしたことを、戦い・経済・宗教・朝廷や将軍との関係でくравて、戦乱を終わらせた方法を言える

8～10ページで学んだ、2人のしたことをならべてくравます。

① 信長と秀吉のくрав

	織田信長	豊臣秀吉
拠点の城	安土城	大阪城
戦い	鉄砲を生かして、強い大名を破る	四国・九州・関東・東北を従えて、全国を統一する
将軍・朝廷	室町幕府をほろぼす	関白・太政大臣になり、朝廷の権威を使う
経済	楽市・楽座・関所の廃止・堺の支配	鉱山・金貨・重要な都市の支配
宗教	仏教勢力をおさえ、キリスト教を保護する	初めは布教を認める（13ページ）

② 戦乱を終わらせた2つの道

力で 鉄砲と大軍で、従わない大名や寺の勢力をおさえた	しくみで 商業と鉱山で富を集め、従った大名には領地を認めて家来にした
--------------------------------------	--

③ 秀吉の経済

秀吉は、石見銀山（いわみぎんざん。島根県）・佐渡金山（さどきんざん。新潟県）などの鉱山を直接支配し、大判（おおばん）などの金貨をつくりました。京都・大阪・堺・長崎などの重要な都市も直接支配しました。

④ くравて考える

くравるときは、同じ観点（戦い・経済・朝廷との関係）で2人を見て、「同じところ」と「ちがうところ」に分けると、整理できます。

同じところ	ちがうところ
鉄砲や大軍の力と、商業や鉱山の富の力で、大名を従えた	信長は将軍を京都から追放し、秀吉は関白・太政大臣の職について朝廷の権威を使った。仏教勢力は、信長がおさえた

注意 × 信長は、本能寺の変の前に全国の統一をなしとげた → ○ 信長は統一の途中で本能寺の変でたおれ、全国を統一したのは秀吉（1590年）

合言葉 「信長が道を開き、秀吉がまとめる」

→ まとめ：2人は力と富で大名を従え、戦乱の世を終わらせた

12 秀吉は、なぜ検地と刀狩をした？

このページのゴール 太閤検地と刀狩の中身とねらい、兵農分離で社会がどう変わったかを、中世とくらべて言える

① 太閤検地

太閤検地（たいこうけんち）＝1582年から秀吉が全国で行った、ものさしとますを統一して、田畑の面積と土地のよしあしを調べ、とれる米の量（収穫量）を石高で表した政策。検地帳には、耕す百姓の名前を書いた

百姓は、田畑を耕す権利を認められる代わりに、石高に応じた年貢を納める義務を負いました。荘園（中1）の領主だった公家や寺社の、土地についての権利はなくなりました。

石高（こくだか）＝田畑や村、大名の領地の大きさを、とれる米の量で表したもの（1石は、大人1人が1年に食べる米の量が目安）。大名は石高に応じて、戦いのときに兵を出す義務を負いました。

H村の検地帳（架空の例）				
田畑	等級	面積	石高	耕す百姓
田	上	1反	1.5石	太郎
田	下	2反	2石	次郎
畑	中	1反	0.8石	太郎

② 刀狩

刀狩（かたながり）＝1588年、秀吉が刀狩令を出し、百姓から刀・弓・やり・鉄砲などの武器を取り上げた政策。百姓の一揆を防ぎ、百姓を農業に専念させるため

③ 兵農分離

兵農分離（へいのうぶんり）＝太閤検地と刀狩によって、武士と百姓の身分の区別がはっきりしたことです。

	中世	近世（秀吉から）
武士	村に住み、農業も行う	城下町に住む
百姓	武器をもち、戦いや一揆に加わる	武器をもたず、田畑を耕して年貢を納める
土地	荘園の領主など何人もの権利が重なる	検地帳で、耕す百姓が決まる

注意 ×太閤検地は、百姓から武器を取り上げる政策だ → ○太閤検地は田畑の面積やとれる米の量を調べる政策。武器を取り上げたのは刀狩

合言葉 「検地で土地、刀狩で武器、分かれた武士と百姓」

→ まとめ：武士と百姓が分かれ、百姓は一揆を起こしにくくなった

13 秀吉は、外国とどう向き合った？

このページのゴール バテレン追放令の中身と、朝鮮侵略の流れ・苦戦したわけ・その影響を言える

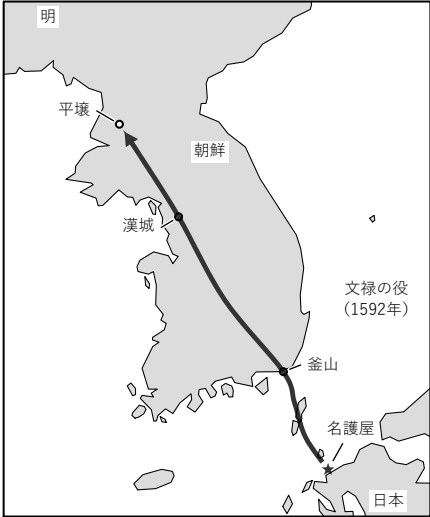
7ページのキリスト教の広まりのとき、秀吉は初め布教を認めていました。ところが1587年、九州を従えたとき、長崎がイエズス会の領地になっていることや、キリシタンが神社や寺をこわしていることを知り、宣教師を国外に追放するよう命じました。

バテレン追放令＝1587年、秀吉が出した、宣教師（バテレン）を国外に追放する命令。南蛮貿易はすすめたので、取りしまりは徹底しなかった

考え方 文の資料の時期は、何をする政策かを考え、年表の前後の年のできごとの間に当てはめて決めます。

- ① 秀吉は明（中国）を征服しようと考え、朝鮮に協力を求めたが、断られる
- ② 1592年、肥前（ひぜん。今の佐賀県）の**名護屋**（なごや）に城を築いて拠点にし、大軍を送って、朝鮮の都の漢城（今のソウル）を占領し、北へ進む（**文禄の役**）
- ③ **李舜臣**（りしゅんしん）の率いる朝鮮の水軍や、各地の民衆の義兵の抵抗、明の援軍で苦戦し、休戦する
- ④ 1597年、再び出兵する（**慶長の役**）
- ⑤ 1598年、秀吉の死で全軍が引きあげる

朝鮮侵略＝秀吉が明の征服をめざして、朝鮮へ2度の出兵（文禄の役・慶長の役）をした、失敗に終わった戦い



地図：Natural Earth

	影響
朝鮮	国土があれ、多くの人々が命を落としたり、日本に連れてこられたりした。連れてこられた陶工が、有田焼（佐賀県）などの焼き物を始めた
日本	大名の負担が重く、豊臣氏の政権が弱まる原因になった

注意 × バテレン追放令で、秀吉は南蛮貿易も禁止した → ○ 宣教師を追放したが、南蛮貿易はすすめたので、取りしまりは徹底しなかった

合言葉 「宣教師は追い出し、貿易は続ける」

→ まとめ：国内の統一を終えた秀吉は、外国にまで力をのばそうとした

14 桃山文化は、なぜ豪華なのか？

このページのゴール 桃山文化の特色と、天守のある城・障壁画・茶の湯を、だれの力でつくられたかと結んで言える

桃山文化＝信長・秀吉のころ、大名や大商人（豪商）の経済力と権力を背景に栄えた、豪華で壮大な文化。仏教の影響がうすれ、現実の生活を楽しむ気風があり、ヨーロッパの影響も受けた

① 城・絵・茶の湯



姫路城の天守
(兵庫県姫路市。世界遺産)
写真：Gorgo (パブリックドメイン)。
Wikimedia Commons より、白黒にした



唐獅子図屏風
(狩野永徳の作)
絵：狩野永徳 (著作権切れ)。Wikimedia Commons より、
白黒にして切り取った

何	例・だれ	特色	だれの力で
城	安土城・大阪城・ <u>姫路城</u> （ひめじじょう。兵庫県。白鷺城〈しらさぎじょう〉ともよばれ、世界遺産）	高くそびえる <u>天守</u> （てんしゅ）をもつ壮大な城	大名の経済力と権力
絵	<u>狩野永徳</u> （かのうえいとく）「 <u>唐獅子図屏風</u> 」（からじしずびょうぶ）	城のふすまや <u>屏風</u> （びょうぶ）に、金箔（きんぱく）を使った地に、あざやかな色の <u>障壁画</u> （しょうへきが）をえがいた	大名・豪商の経済力
茶の湯	<u>千利休</u> （せんのりきゅう。堺の商人の出身）	室町時代の茶の湯（中1）を受けつぎ、質素で静かな風情を工夫して楽しむ <u>わび茶</u> を完成させた	大名や豪商の間で、交わりの場として流行

注意 × 桃山文化は、仏教の教えを大切にた、質素で落ち着いた文化だ → ○ 大名や豪商の力を背景にした、豪華で壮大な文化（わび茶は、質素な風情を工夫して楽しんだ）

合言葉 「天守・金の絵・わび茶」

→ まとめ：統一を進めた大名と豪商が、大きな富と力をもったことが文化にも表れた

15 ヨーロッパの文化や民衆の楽しみは、どう広がった？

このページのゴール 南蛮文化の例と、かぶき踊り・三味線・浄瑠璃・木綿など民衆の生活の文化を言える

7ページの南蛮貿易で来た南蛮人は、品物といっしょに、ヨーロッパの文化も伝えました。

① 南蛮文化



キリシタン版の本
（『どちりなきりしたん』1600年）
絵：イエズス会の印刷所（長崎）1600
（著作権切れ）。Wikimedia Commons
より、白黒にして切り取った

南蛮文化＝南蛮貿易と宣教師によって伝わった、ヨーロッパの文化

天文学・医学・航海術のほか、**活版印刷**の技術も伝わり、ローマ字で日本語の本（『平家物語』など）が印刷されました。パン・カステラ・カルタ・タバコ・時計なども伝わりました。パン・カルタ・タバコは、ポルトガル語から来た言葉です。南蛮人や南蛮船をえがいた**南蛮屏風**もつくられました。

② 民衆の文化

京都で**出雲の阿国**（いずものおくに）が始めた**かぶき踊り**が人気を集め、のちの歌舞伎（かぶき）のもとになりました。琉球から伝わった楽器をもとに**三味線**（しゃみせん）がつくられ、三味線に合わせて物語を語る**浄瑠璃**（じょうるり）も広まりました。衣服は、麻にかわって**木綿**（もめん）が広まりました。

③ 受けついだ物と新しい物

中世から受けついだ物	新しく加わった物
茶の湯・水墨画・書院造（中1）	天守のある城・南蛮文化・かぶき踊り・三味線

注意 × かぶき踊りは、貴族が宮中で始めた踊りだ → ○ 京都で出雲の阿国が始め、民衆の間で人気になった

合言葉 「パンもカルタも南蛮から」

→ まとめ：戦乱が終わりに近づき、人々は新しい文化と生活の楽しみを広げた

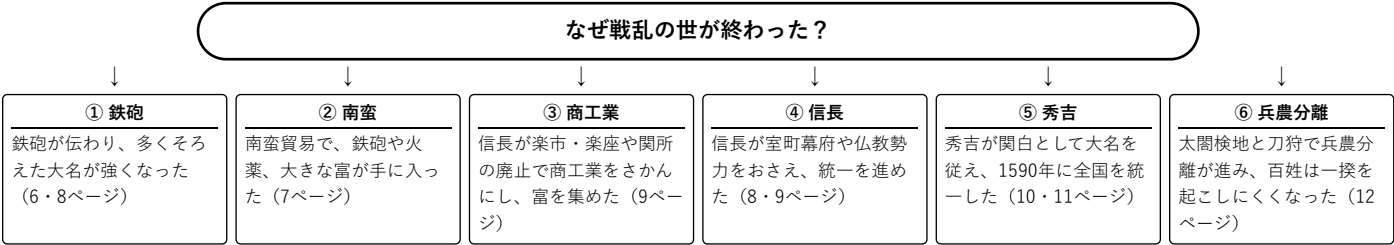
16 なぜ、100年続いた戦乱の世が終わった？

このページのゴール 2～15ページを、ヨーロッパの動きとクラゲチャートでつないで、1ページの問いに答えられる

① ヨーロッパの動き

- ① ルネサンスと宗教改革で、新しい文化と教会の立て直しが進む（2・3ページ）
- ② 大航海時代に、アジアを目指して新航路を開き、アメリカ大陸やアジアに進出する（4・5ページ）
- ③ ポルトガル人が鉄砲を、イエズス会の宣教師がキリスト教を、日本に伝える（6・7ページ）

② クラゲチャート



③ 年表

年	できごと	年	できごと
1492年	コロンブスが西インド諸島に着く	1575年	長篠の戦い
1517年	ルターが宗教改革を始める	1582年	本能寺の変・太閤検地が始まる
1522年	マゼランの船隊が世界一周	1587年	バテレン追放令
1543年	鉄砲の伝来	1588年	刀狩令
1549年	キリスト教の伝来	1590年	秀吉が全国を統一
1560年	桶狭間の戦い	1592・1597年	文禄の役・慶長の役
1573年	室町幕府がほろびる		

④ 問いの答えの例

ヨーロッパ人が伝えた鉄砲で戦い方が変わり、南蛮貿易で鉄砲や富を手に入れた大名が強くなりました。織田信長は、鉄砲を生かした戦いと、楽市・楽座などで商工業をさかんにする政策で力をつけた。室町幕府や仏教勢力をおさえました。その後をついだ豊臣秀吉は、関白として全国の大名を従えて1590年に全国を統一し、太閤検地と刀狩で武士と百姓を分けて、一揆の起こりにくい社会のしくみをつくりました。

戦国時代の終わり：ヨーロッパ人との出会いが、日本の戦国時代を終わらせるきっかけになった

確認問題① ヨーロッパの変化・世界への進出

答えと解説は21・22ページ（11枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

1 ヨーロッパの変化について答えなさい。【2・3ページ】

- (1) 14世紀にイタリアで始まり、古代のギリシャやローマの文化を学び直して、人間のいきいきとした姿を表そうとした動きを何といいますか。 _____
- (2) 絵画「モナ・リザ」をえがいた人物を選びなさい。
ア ミケランジェロ イ コペルニクス ウ レオナルド・ダ・ビンチ エ グーテンベルク _____
- (3) (1)の動きがイタリアで始まったのはなぜですか。正しいものを選びなさい。
ア 十字軍の後、イスラム世界との貿易で都市が栄え、古代の学問が伝わったから
イ ローマ教皇が、古代の文化を学び直すように、各国の王にきびしく命じたから
ウ アメリカ大陸の先住民から、新しい学問と文化が伝わって、都市に広まったから
エ 中国の明から多くの学者が移り住み、新しい学問をイタリアの都市に伝えたから _____
- (4) ルターが、信仰のよりどころとしたものを選びなさい。
ア ローマ教皇の命令 イ 教会の儀式 ウ 仏教の経典 エ 聖書 _____
- (5) 宗教改革に対抗して、カトリック教会を立て直そうとつくられ、アジアやアメリカ大陸に宣教師を送った団体を何といいますか。 _____
- (6) カトリック教会が、アジアやアメリカ大陸への布教に力を入れたのはなぜですか。「信者」「ヨーロッパ」の2つの語を使って書きなさい。

2 世界への進出について答えなさい。【4・5ページ】

- (1) ヨーロッパの人々が、アジアへの新しい航路を求めたわけとして正しいものを選びなさい。
ア ヨーロッパで香辛料がとれすぎて、売る先をアジアに探す必要があったから
イ アジアの国々の王から、助けを求める手紙が何通もヨーロッパに届いたから
ウ ヨーロッパでは、陸の道を通してアジアへ行くことが法律で禁止されたから
エ アジアの品物は、イスラム商人などを通すととても高く、直接取り引きしたかったから _____
- (2) スペインの援助で1519年に出発し、南アメリカの南の端を回って太平洋をわたった。本人は途中のフィリピンで亡くなったが、船隊は1522年に初めて世界一周をなしとげた。この人物はだれですか。 _____
- (3) 15世紀の終わりから、ヨーロッパの国々が新しい航路を開き、世界の海に乗り出していった時代を何といいますか。 _____
- (4) 南アメリカのアンデス山脈にあり、16世紀にスペインにほろぼされた国を選びなさい。
ア 元 イ インカ帝国 ウ 明 エ ローマ帝国 _____
- (5) アメリカ大陸で、もともと住んでいた人々の人口が大きく減ったわけとして正しいものを選びなさい。
ア 持ちこまれた病気が広がり、鉱山や農園できびしく働かされたから
イ 多くの人がヨーロッパへ移り住み、アメリカ大陸の人口が減ったから
ウ 大きな火山の噴火が続き、多くの人が住めなくなったから
エ アジアの国々に攻めこまれ、多くの人が戦いで命を落としたから _____
- (6) スペインなどが、アフリカの人々をアメリカ大陸へ連れていったのはなぜですか。「先住民」「働く人」の2つの語を使って書きなさい。

確認問題② 鉄砲とキリスト教の伝来・信長と秀吉の統一事業

答えと解説は21・22ページ（11枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

3 鉄砲とキリスト教の伝来について答えなさい。【6・7ページ】

- (1) 1543年、ポルトガル人を乗せた中国人の船が流れ着き、鉄砲が伝えられた、今の鹿児島県の島を何といいますか。 _____
- (2) 鉄砲が伝わった後、国内で鉄砲が大量に作られた都市を選びなさい。
ア 平泉 イ 鎌倉 ウ 堺 エ 奈良 _____
- (3) 1549年に鹿児島に来て、日本に初めてキリスト教を伝えたイエズス会の宣教師はだれですか。 _____
- (4) キリスト教の信者になった大名を何といいますか。1582年には、そのうちの3人が、4人の少年をローマ教皇のもとへ送りました。 _____
- (5) ポルトガル人やスペイン人との貿易で、日本がおもに輸出した物を選びなさい。
ア 鉄砲 イ 銀 ウ 生糸 エ 火薬 _____
- (6) 九州の大名の中に、宣教師の布教を認める者が多かったのはなぜですか。「貿易」「利益」の2つの語を使って書きなさい。

4 信長と秀吉の統一事業について答えなさい。【8～11ページ】

- (1) 1575年の長篠の戦いで、織田・徳川の軍が武田氏の軍に勝ったわけとして正しいものを選びなさい。
ア 海から船で、武田氏の城を取り囲んで攻めたから
イ 鉄砲を大量にそろえて、武田氏の騎馬隊を破ったから
ウ 朝廷の軍が味方につき、武田氏の兵が戦わずに引きあげたから
エ 武田氏が戦う前に降伏して、戦いが起こらなかったから _____
- (2) 1573年に信長がしたこととして正しいものを選びなさい。
ア 各地に関所を新しく置いて、通行料を取り始めた
イ 全国の田畑の面積を調べる検地を始めた
ウ 足利義昭を京都から追放し、室町幕府をほろぼした
エ 桶狭間の戦いで駿河の今川義元を破った _____
- (3) 安土の城下町などで、市の税を免除し、座の特権をなくして、だれでも自由に商売ができるようにした政策を何といいますか。 _____
- (4) 信長が仏教勢力に対してしたこととして正しいものを選びなさい。
ア 延暦寺を焼き討ちにし、石山本願寺を降伏させた
イ 寺や神社に多くの土地を寄附し、仏教を手厚く保護した
ウ 仏教を国の宗教に定め、キリスト教を禁止した
エ 寺に関所を置く権利をあたえ、通行料を取らせた _____
- (5) 1582年、山崎の戦いで秀吉が破った人物を選びなさい。
ア 今川義元 イ 武田勝頼 ウ 足利義昭 エ 明智光秀 _____
- (6) 秀吉が1585年に朝廷から任じられた職を選びなさい。
ア 守護 イ 執権 ウ 関白 エ 管領 _____
- (7) 信長が各地の関所を廃止したのはなぜですか。「人や物」「商業」の2つの語を使って書きなさい。

確認問題 ③ 秀吉の政策と朝鮮侵略・桃山文化・まとめ

答えと解説は21・22ページ（11枚目の紙）にあります。【 】は、わからないときに読み直すページです。

5 秀吉の政策と朝鮮侵略について答えなさい。【12・13ページ】

- (1) 秀吉が全国で行った、田畑の面積や土地のよしあしを調べ、耕す百姓の名前を帳面に記録した政策を何といいますか。 _____
- (2) 田畑や村、大名の領地の大きさを、とれる米の量で表したものを何といいますか。 _____
- (3) (1)の政策で変わったこととして正しいものを選びなさい。
- ア 百姓が武士として戦いに出ることが、全国の村に義務として決められた
- イ 百姓は耕す権利を認められる代わりに、年貢を納める義務を負った
- ウ 公家や寺社の荘園が、検地の後に全国にさらに広がっていった
- エ 年貢がなくなり、田畑を耕す権利も広がって、百姓のくらしが楽になった _____
- (4) 1588年、秀吉が百姓から刀や弓、やりなどの武器を取り上げた政策を何といいますか。 _____
- (5) (1)と(4)の政策によって、武士と百姓の身分の区別がはっきりしたことを何といいますか。 _____
- (6) 朝鮮侵略の後のようすとして正しいものを選びなさい。
- ア 大名の負担が重くなり、政権が弱まった
- イ 明との貿易がさかんになった
- ウ 日本が朝鮮を支配するようになった
- エ 朝鮮から品物が送られ、収入がふえた _____
- (7) 朝鮮に攻めこんだ秀吉の軍が苦戦したのはなぜですか。「水軍」「明」の2つの語を使って書きなさい。

6 桃山文化について答えなさい。【14・15ページ】

- (1) 堺の商人の出身で、質素で静かな風情を楽しむ茶の湯を完成させた人物はだれですか。 _____
- (2) 「唐獅子図屏風」など、城のふすまや屏風に、金箔を使ったあざやかな絵をえがいた人物を選びなさい。
ア 雪舟 イ 運慶 ウ 狩野永徳 エ 紫式部 _____
- (3) 京都で出雲の阿国が始めた踊りで、のちの歌舞伎のもとになったものを何といいますか。 _____
- (4) このころの民衆のくらしの変化として正しいものを選びなさい。
ア 寝殿造の家に住むようになった イ 麻にかわって、木綿の衣服が広まった
ウ かな文字が初めてつくられた エ 和歌が初めてよまれるようになった _____
- (5) ヨーロッパから伝わった文化の例として正しいものを選びなさい。
ア 漢字や仏教の経典 イ 水墨画や書院造の部屋
ウ ふすまに金箔の絵をえがく技術 エ バンやカルタ、ローマ字の本の印刷 _____
- (6) 天守をもつ壮大な城や、金箔を使った障壁画がつくられたのはなぜですか。「大名」「力」の2つの語を使って書きなさい。

7 年表とまとめについて答えなさい。【1・16ページ】

- (1) 次のできごとを、古い順に並べなさい。
 ア コロンブスが西インド諸島に着く イ ザビエルがキリスト教を伝える
 ウ ルターが宗教改革を始める エ 桶狭間の戦い
- (2) 秀吉が全国を統一した年を選びなさい。
 ア 1543年 イ 1590年 ウ 1573年 エ 1467年

なぜ戦乱の世が終わった？ — クラゲチャートの足の一部

- ①1543年に種子島に伝わり、足軽の集団戦に使われた (A) を多くそろえた大名が、強くなった
②ポルトガル人やスペイン人と行った (B) 貿易で、火薬と大きな富が手に入った

- (3) 上の文の A に入る語を書きなさい。 _____ (4) 上の文の B に入る語を書きなさい。 _____
- (5) 信長や秀吉が戦乱の世を終わらせる力をもてたのはなぜですか。経済の面から、「商工業」「富」の2つの語を使って書きなさい。 _____

覚えることの一覧（何も見ずに書けるか、紙でかくして確かめよう）

ヨーロッパの変化（2・3ページ）

中世＝カトリック教会とローマ教皇が大きな力をもつ。十字軍（中1）の後、イタリアの都市が栄える。ルネサンス（14世紀・イタリア。古代ギリシャ・ローマの文化を学び直し、人間のいきいきとした姿や個性を表す）。レオナルド・ダ・ビンチ（『モナ・リザ』）・ミケランジェロ（『ダビデ』の像）・コペルニクス（地動説）・ガリレイ。羅針盤・火薬・グーテンベルクの活版印刷。宗教改革（16世紀の初め。ローマ教皇の免許符の販売を批判）・1517年ルター（聖書がよりどころ）・カルバン（スイス）。プロテスタント（『抗議する者』）。イエズス会（カトリック教会を立て直す。宣教師をアジアやアメリカ大陸へ送る）・フランシスコ・ザビエル。

ヨーロッパの世界進出（4・5ページ）

香辛料・イスラム商人・新航路。大航海時代（15世紀の終わりから）。コロンブス（スペイン・1492年・大西洋を西へ・西インド諸島）・バスコ・ダ・ガマ（ポルトガル・1498年・アフリカの南の端を回ってインド）・マゼランの船隊（スペイン・1519～1522年・世界一周）。アステカ王国とインカ帝国（16世紀前半にスペインがほろぼす）・先住民・奴隷。スペイン＝アメリカ大陸の中部・南部（ブラジルをのぞく）とマニラ／ポルトガル＝ブラジルとゴア・マラッカ・マカオ。

鉄砲とキリスト教の伝来（6・7ページ）

鉄砲の伝来（1543年・種子島・ポルトガル人を乗せた中国人の船）・堺と国友・足軽の鉄砲隊・平地の城。キリスト教の伝来（1549年・ザビエル・鹿児島）・キリシタン・キリシ

年表（16ページ）

年	できごと	年	できごと
1492年	コロンブスが西インド諸島に着く	1575年	長篠の戦い
1517年	ルターが宗教改革を始める	1582年	本能寺の変・太閤検地が始まる
1522年	マゼランの船隊が世界一周	1587年	バテレン追放令
1543年	鉄砲の伝来	1588年	刀狩令
1549年	キリスト教の伝来	1590年	秀吉が全国を統一
1560年	桶狭間の戦い	1592・1597年	文禄の役・慶長の役
1573年	室町幕府がほろびる		

合言葉

古代に学んで、人間らしく／ルターは聖書、イエズス会は海外へ／西へコロンブス、南回りでガマ、一周マゼラン／インカもアステカもスペインに／1543、種子島から鉄砲が広がる／生糸と鉄砲を買い、銀で払う／桶狭間で名を上げ、長篠で鉄砲／税なし・座なし・関所なし／光秀を破り、関白になって全国統一／信長が道を開き、秀吉がまとめる／検地で土地、刀狩で武器、分かれた武士と百姓／宣教師は追い出し、貿易は続ける／天守・金の絵・わび茶／パンもカルタも南蛮から

タン大名（大友宗麟・有馬晴信・大村純忠）・天正遣欧使節（1582年）。南蛮人と南蛮貿易（長崎・平戸。輸入＝生糸・絹織物・鉄砲・火薬など／輸出＝おもに銀）。

信長と秀吉の統一事業（8～11ページ）

織田信長＝桶狭間の戦い（1560年・今川義元）・足利義昭と京都へ（1568年）・延暦寺の焼き討ち（1571年）・室町幕府の滅亡（1573年）・長篠の戦い（1575年・鉄砲・武田勝頼）・安土城（1576年から）・石山本願寺の降伏（1580年）・本能寺の変（1582年・明智光秀）。楽市・楽座（市の税を免除・座の特権をなくす）・関所の廃止・堺の支配。豊臣秀吉＝山崎の戦い（1582年）・大阪城（1583年から）・関白（1585年）・太政大臣・全国統一（1590年）・安土桃山時代。

秀吉の政策と朝鮮侵略（12・13ページ）

太閤検地（1582年から。面積と土地のよしあしを調べ、石高で表す。検地帳に耕す百姓の名前。年貢の義務）。刀狩（1588年・刀狩令。武器を取り上げる）。兵農分離（武士は城下町、百姓は村で農業）。バテレン追放令（1587年・宣教師を追放・貿易はすすめた）。朝鮮侵略（文禄の役 1592年・慶長の役 1597年。名護屋・李舜臣・明の援軍）。1598年に秀吉が亡くなり、引きあがる。

桃山文化（14・15ページ）

桃山文化（大名や豪商の経済力と権力。豪華で壮大）。天守・姫路城。狩野永徳・障壁画・唐獅子図屏風。千利休・わび茶。南蛮文化（活版印刷・パン・カステラ・カルタ・時計）。出雲の阿国・かぶき踊り・三味線・浄瑠璃・木綿。

確認問題の答えと解説

1【2・3ページ】

- (1) ルネサンス (2) ウ
(3) ア (4) エ
(5) イエズ会
(6) (例) カトリック教会からはなれる人がふえたので、ヨーロッパの外で信者をふやそうとしたから。
14世紀にイタリアで始まり、古代の文化を学び直す動きがルネサンスです。「モナ・リザ」をえがいたのはレオナルド・ダ・ビンチです（ミケランジェロは「ダビデ」の像、コペルニクスは地動説、グーテンベルクは活版印刷）。イタリアでは、十字軍の後にイスラム世界との貿易で都市が栄え、受けつがれていた古代の学問が伝わりました。ルターは、聖書だけが信仰のよりどころだと主張しました。カトリック教会を立て直そうとつくられ、宣教師をアジアやアメリカ大陸へ送ったのがイエズ会です。記述の採点のめやす：「信者」「ヨーロッパ」の両方を使って、ヨーロッパの外で信者をふやそうとしたことが書けていれば正解。【2・3】

2【4・5ページ】

- (1) エ (2) マゼラン
(3) 大航海時代 (4) イ
(5) ア
(6) (例) 持ちこまれた病気がきびしい労働で先住民が減り、働く人が足りなくなったから。
香辛料などのアジアの品物は、イスラム商人やイタリアの商人を通すととても高かったので、直接取り引きしようと新しい航路を求めました。1519年に出発し、途中のフィリピンで亡くなったが船隊が初めて世界一周をなしとげたのはマゼランです。15世紀の終わりに新しい航路を開いた時代が大航海時代です。南アメリカのアンデス山脈にあったのはインカ帝国です（元・明は中国の国、ローマ帝国は古代の国です）。先住民は、ヨーロッパ人が持ちこんだ病気が広がり、鉱山や農園できびしく働かされて、人口が大きく減りました。記述の採点のめやす：「先住民」「働く人」の両方を使って書けていれば正解。【4・5】

3【6・7ページ】

- (1) 種子島 (2) ウ
(3) フランシスコ・ザビエル
(4) キリシタン大名 (5) イ
(6) (例) 宣教師を保護すると貿易の船が来て、貿易の利益が得られたから。
鉄砲は1543年に種子島に伝わり、堺や国友で大量に作られました（平泉・鎌倉・奈良は鉄砲の産地ではありません）。1549年に鹿児島に来て日本に初めてキリスト教を伝えたのは、イエズス会のフランシスコ・ザビエルです。大友宗麟・有馬晴信・大村純忠などのキリシタン大名のうち3人が、1582年に天正遣欧使節を送りました。南蛮貿易の輸出品はおもに銀で、生糸・鉄砲・火薬は輸入品です。記述の採点のめやす：「貿易」「利益」の両方を使って書けていれば正解。【6・7】

4【8～11ページ】

- (1) イ (2) ウ
(3) 楽市・楽座 (4) ア
(5) エ (6) ウ
(7) (例) 人や物の行き来を自由にして、商業をさかんにするため。
長篠の戦い（1575年）では、鉄砲を大量に使って武田勝頼の騎馬隊を破りました。1573年、信長は足利義昭を京都から追放して室町幕府をほろぼしました（検地は秀吉、桶狭間の戦いは1560年です）。楽市・楽座は市の税を免除し、座の特権をなくした政策です。信長は延暦寺を焼き討ちに、石山本願寺を降伏させました。1582年、秀吉は山崎の戦いで明智光秀を破り、1585年に関白に任じられました。記述の採点のめやす：「人や物」「商業」の両方を使って書けていれば正解。【8・9・10】

5 【12・13ページ】

- (1) 太閤検地 (2) 石高
(3) イ (4) 刀狩
(5) 兵農分離 (6) ア
(7) (例) 朝鮮の水軍や民衆の義兵の抵抗に加え、明の援軍が来たから。

太閤検地は、田畑の面積や土地のよしあしを調べ、耕す百姓の名前を検地帳に書いた政策で、収穫量は石高で表しました。百姓は耕す権利を認められる代わりに年貢を納める義務を負い、荘園の領主だった公家や寺社の権利はなくなりました。刀狩は、百姓から武器を取り上げた政策です。検地と刀狩で武士と百姓の身分が分かれたことが兵農分離です。朝鮮侵略の後、大名の負担が重くなり、豊臣氏の政権が弱まりました。記述の採点のめやす：「水軍」「明」の両方を使って書けていれば正解。【12・13】

6 【14・15ページ】

- (1) 千利休 (2) ウ
(3) かぶき踊り (4) イ
(5) エ
(6) (例) 大名や豪商が、大きな経済力と権力をもっていたから。

堺の商人の出身の千利休が、質素で静かな風情を楽しむわび茶を完成させました。「唐獅子図屏風」をえがいたのは狩野永徳です（雪舟は水墨画、運慶は彫刻、紫式部は『源氏物語』の作者で、中1で学びました）。このころ、衣服は麻にかわって木綿が広まりました。ヨーロッパからは、パン・カステラ・カルタ・ローマ字の本を印刷する活版印刷の技術などが伝わりました（水墨画・書院造は中世の文化です）。記述の採点のめやす：「大名」「力」の両方を使って、大名や豪商の力を背景にしたことが書けていれば正解。【14・15】

7 【1・16ページ】

- (1) ア → ウ → イ → エ
(2) イ (3) 鉄砲
(4) 南蛮
(5) (例) 楽市・楽座などで商工業をさかんにして、大きな富を集め、大名を従えたから。

並べかえは、1492年のコロンブス → 1517年のルターの宗教改革 → 1549年のザビエルのキリスト教の伝来 → 1560年の桶狭間の戦いの順です。秀吉が全国を統一したのは1590年です。①は1543年に伝わり、足軽の集団戦に使われた鉄砲、②はポルトガル人やスペイン人との貿易で南蛮貿易です。記述の採点のめやす：「商工業」「富」の両方を使って書けていれば正解。【9・11・16】